



目次

2

巻頭言：コロナ禍の自粛生活
(荒堀副支部長)

3

この1年を振り返って
(藤田支部長)

4

大津支部定期総会および
本部定期総会の報告

5

新入会員入会式の報告

6

部会だより

- ⑥ 健康部会
- ⑦ 文化部会
- ⑧ 研修部会
- ⑨ 地域活動部会

11

2020(令和2)年度
小学校支援活動実績表および
まちなか支援活動実績表

12

事務局からのお知らせ

15

サークル活動紹介



レイカディア大学同窓会 大津支部定期総会(4月22日)



新入会員入会式(4月22日)

17

新入会員投稿

22

会員投稿

29

大津支部の活動紹介

32

会員動向・編集後記

コロナ禍の自粛生活

瀬田地域副支部長 荒堀 勝正(32期 健レク・瀬田)

新型コロナウイルスにより自粛生活が叫ばれ、人との接触は出来るだけ少なく、とのことで自分の近くを見直しウォーキングを兼ねて地域を回りました。

1. 建部大社（たけべたいしゃ）

「近江国一の宮」といい、天武天皇白鳳4年（675年）建部連安麿が詔をうけ日本武尊（ヤマトタケルノミコト）を当時近江国府の所在地であった瀬田の地に迁祀し崇め奉ったのが始まり。歴朝のご尊信篤く、とくに源頼朝が平家に捕らわれ、14歳にして伊豆に流されるため、京都から関東に下向の折、永暦元年（1160年）3月20日に当社に参籠して前途を祈願したことが平家物語に記載されています。遂に頼朝は源氏再興の宿願成って、建久元年（1190年）の11月に右大将として上洛の際、再び社前で祈願成就の神慮に対し、幾多の神宝と神領を寄進して奉賽の誠を尽くされたのです。当大社が出世開運、商売繁盛、縁結び、医薬醸造の神として広く崇啓されるゆえんです。



昭和20年8月、日本で初めて作られた千円紙幣の図柄に日本武尊と建部大社本殿が使用されています。

2. 野社碑「ちりんさん」

大江の地の開発者として伝承されるのは、大江千里です。千里は、平安前期の歌人で、三十六歌仙の一人として著名な人です。この千里が、大江に住んでこの地を開き「ちりんさん」と呼ばれ村人から敬われました。その後、村人が住居の旧跡に野神社を建てて、その遺徳をしのんだと言われています。明治25年（1892年）に御霊神社に合祀されました。



千里の和歌は『古今和歌集』の10首を初めとして、以降の勅撰和歌集に25首が入集しています。小倉百人一首の23番目に、

月見れば 千々にものこそ 悲しけれ わが身一つの 秋にあらねど

（現代意識：秋の月を眺めていると、様々と思い起こされ物悲しいことです。秋はわたしひとりだけにやってきたのではないのですが・・・）

コロナにより通常の生活はなかなか戻りませんが、クラゲは5億年の歴史を持つ生き物とされています。いかに柔軟に対応できることが生きる道だとクラゲに教わります。「百聞は一見にしかず」ということわざがありますが、テレビでは「百見は一行にしかず」と言われていました。知っていることで満足するのではなく、一歩前に進むことが大事だと教わりました。

この1年を振り返って

支部長 藤田 順一(37期 園芸・志賀)

支部長としての私の1年は、2020年4月9日レイカディア大学草津校第4研修室にて、出席者26名と委任状198名の参加者で総会を開催して始まった(右:2020年4月9日の総会写真)。



3月から8月まで大学は休校になるのと、43期学生募集は取組みを開始してから中止となり、新型コロナで出鼻をくじかれた思いであった。

支部活動を本格化させたのは9月からであったが、支部会員は決して落ち込む事なく4地域と5部会活動に、英気を養っていたと感じさせる積極的な取組みで結果を残した。地域活動はエンジン全開の雰囲気、初めて訪問する小学校を開拓し、新型コロナ除菌活動にも積極的に取り組んだ。

更に、高齢者施設にマスクが不足しているという情報の中で、ガーゼマスクを縫製して緊急時対応の支援をした。又、大津社協に買い物袋を多数提供し大いに感謝された。

知名度向上の観点から、1月に平和堂石山で作品展示会とイベントを開催し、350人を超える来場者に日頃の活動を披露出来た。平和堂石山の展示取組みは本年度に引き継がれ、7月に平和堂アル・プラザ堅田、および再度平和堂石山の展示計画に繋がった。



平和堂夏原グラントと赤い羽根共同募金等から助成を受けて活動を行い、会計に余裕を持たせることが出来た。

2月末にはゲームコンダクターとして最後の開催となった「びわ湖毎日マラソン」の自主整備員に参加して、日本最高記録を見届けることが出来たことは感無量であった。



41期卒業生の新入会者は28名で、入会率は85%を超え今までに無い高い入会率に繋がった。4地域共に、42期生の地域体験学習を受入れ、例年と比較して多くの在校生を受け入れた事により、本年度末の入会案内に良い結果に繋がる事を期待している。

支部・本部 総会報告

2021年度第37回大津支部定期総会

2021（令和3）年4月22日（木）14時半～16時半に滋賀県長寿社会福祉センター大教室で大津支部の支部総会が開催されました。総会の出席者は89名で、委任状163名でしたので現有会員255名の過半数の参加で支部総会は成立しました。

5名のご逝去者に対しての黙祷と支部長挨拶の後、司会者：中川幸子幹事（37期 地文・一里山）、議長：永尾正昭幹事（34期 地文・南郷）のもとで議案審議に入りました。

第1号議案 2020年度事業報告

第2号議案 2020年度収支決算及び監査報告

第3号議案 会則の一部改定（年会費と役員会）

第4号議案 2021年度事業計画

（質疑）サークル活動のマジックサークルについて

→後継者不在で休止中ですが今後の対応で引継ぎを含めて要検討としました。

第5号議案 2021年度収支予算

（質疑）助成金使用方法について

→助成金使用において制約はありますがボランティア保険料、剪定道具補充等々最大限活かして支部運営の財政健全化に向けて対応することを報告しました。



第1号議案～第5号議案迄すべての議案が可決承認され、議長が総会の終了を宣言しました。

2021(令和3)年度本部定期総会

2021（令和3）年5月26日（水）13時～15時に滋賀県長寿社会福祉センター大教室にて本部定期総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が拡大しつつあることにより、総会出席者は本部三役、常任理事、理事、監事に限定とし、一般会員はリモート参加となりました。

第1号議案 2020（令和2）年度事業報告

第2号議案 2020（令和2）年度決算報告

第3号議案 2021（令和3）年度事業計画（案）

第4号議案 会則の一部改定について

第5号議案 2021（令和3）年度収支予算（案）

全ての議案は提案通り可決・承認されました。

蛇足ですが、総会のリモート参加は、初の試みでしたが、音声の問題も含めて難しいことが認識されました。



新入会員入会式の報告

2021（令和3）年4月22日（木）13時～14時に滋賀県長寿社会福祉センター大教室にて大津支部新入会員入会式が、新入会員29名のうち25名の参加を得て、現会員66名を合わせて総員91名で開催されました。

コロナ感染防止策として、入退場時のアルコール消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、室内換気に加え入会式を短時間とする事を徹底しました。

短時間ではありましたが支部の全般活動と5部会の活動内容の説明に続き各地域毎のミーティングで地域活動内容説明とメンバーとの懇親を深めました。多くの参加者を得る事が出来たのは支部活動、地域活動並びに各種行事への関心が向上し、今後の参加に繋がると考えています。

従来は「新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」として活動内容説明に加えて、サークル活動紹介、親睦ゲーム、地域ミーティング等で会員との絆を深めたのですが、現状のコロナ禍のため、式典の名称も入会式に改め活動内容説明と地域ミーティングのみと短時間で実施しました。



入会式光景



地域ミーティング



新入会員（後ろ2列）と主要執行役員（前列）



「健康部会」

～たのしく なかよく 元気よく！～

1. 第1回グラウンドゴルフ大会は延期

2021年度も新型コロナウイルスの影響を受けて、健康部会の最初の事業がいきなり延期の憂き目を見てしまいました。

本来なら5月14日（金）に、びわこ文化公園で第1回グラウンドゴルフ大会を実施する予定で、3月の役員会に予告も致しました。しかし、開催案内をメール発信する直前の4月15日、滋賀県のコロナ対応が「注意レベル」から「警戒レベル」にステージアップしたため、同大会は延期せざるを得ないと判断し、案内の発信を取りやめました。

延期後の対応は、新型コロナウイルス感染状況と県の対応をみて判断します。決定次第、改めてご案内致します。

2. 2021年度の計画と開催場所

「かけはし72号」でご紹介しましたが、2021年度の健康部会事業として、3回のグラウンドゴルフ大会、2回の室内スポーツ大会及び1回の研修部会との共催事業(成安造形大学と仰木の棚田)を予定しています。新型コロナウイルスには何とか自粛してもらって、計画通りに開催できることを切望しています。

グラウンドゴルフ大会はびわこ文化公園多目的広場と矢橋帰帆島公園グラウンドゴルフ場で開催する予定です。また2回の室内スポーツ大会はレイ大草津校体育室と皇子山公園体育館で1回ずつ開催したいと考えています。

それぞれ開催の1か月前までにはご案内致します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



成安造形大学



矢橋帰帆島公園でのグラウンドゴルフ



びわこ文化公園多目的広場



レイ大草津校でのスカットボール競技



皇子山公園体育館と
クロリティー競技



「文化部会」

～趣味をふかめて たのしく学ぼう！～



行事の延期について

文化部会の主行事である市民陶芸体験講座を5月7日に計画していましたが、コロナ感染状況の推移や滋賀県が警戒ステージになっている事を考慮して中止としました。10月には開催できるような環境になっていることを期待しています。

また、5月27～29日に予定していた作品展も同様の理由で10月に延期としました。応募票も集まりかけておりましたが、出展者の期待を裏切ることになってしまい誠に残念です。

一日も早く鎮静化することを願っています。



2019年度の市民陶芸体験講座（左）と作品展（右）

平和堂アル・プラザ堅田および平和堂石山での作品展示について

今年1月に平和堂石山の3階テナントエリアでの展示会に、多くの方から作品を出して頂くのと会場設営にご協力頂き、日頃の成果と活動紹介を披露することが出来ました。

石山で好評を得たことから、7月2日（金）から7月5日（月）に平和堂アル・プラザ堅田の1階センターコートで、地域貢献を目的にレイカディア大学大津支部の紹介パネルと、平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原 Grant」のロゴを入れた、地域の小学校環境・美化活動パネルを掲示すると、大津支部作品展示のボランティア活動を行います。さらに、お子様向け紙芝居・マジックとシニア層向けの健康体操を披露して、大津支部の知名度向上とレイカディア大学43期学生募集を行いながら、楽しく・和みの場を提供します。

また、7月23日（金）から7月26日（月）に平和堂石山の3階フードスペースで再度展示会と紙芝居・マジックを上演します。多くの方の作品展示と会場設営の協力者を募集します。

◇アル・プラザ堅田 7月2日（金）から7月5日（月）の4日間

- ①大津支部紹介パネル3枚、堅田地区小学校環境・美化活動パネル1枚
- ②作品展示：陶芸、書道、絵手紙、竹灯籠、彫刻等
- ③子供向け紙芝居・マジック、シニア層向け健康体操

◇平和堂石山 7月23日（金）から7月26日（月）の4日間

- ①大津支部紹介パネル3枚、石山地区小学校環境・美化活動パネル1枚
- ②作品展示：陶芸、書道、絵手紙、竹灯籠、彫刻等
- ③子供向け紙芝居・マジック



2021 年度活動予定

6月11日に予定していた「仰木の里・棚田見学会」は、折からのコロナ蔓延状況とコロナワクチン接種開始とが重なり、協議の上、安全・安心と、三密を避ける意味からもやむを得ず実施直前になって一旦中止を決めさせて頂きました。大勢の方にお申し込み頂いたにも拘わらず、痛恨の極みであります。この場をお借りしてお詫びを申し上げます。時期や状況を考えてまして部会で相談の上もう一度企画をたてます。

今後の予定（案）（実施・日時未定）

- 仰木の里・棚田見学会
- 彦根地方气象台見学会
（滋賀の気象環境、大気環境などを学習）
彦根城や周辺の散策
- ブリヂストン彦根工場見学会
- キリンビール彦根工場見学会
- 琵琶湖博物館・水族展示室・水生植物園の見学会
- マーガレットステーション菜の花館・県立平和祈念館見学



仰木の里の棚田



彦根地方气象台



琵琶湖博物館

第1回 SDGs アンケート結果報告

大津支部の皆様にもアンケートにご協力頂き有難うございました。（大津 SDGs 推進委員会）

アンケート目的：国連で採択された SDGs が5年経過した時点で目標がどの程度達成できているか、達成評価を知るために実施。SDGs は17の目標について「誰一人取り残さない」という高い目標を2030年に達成したいと定めています。

達成度評価 各項目4点満点

（重点項目：気候変動、エネルギー、健康福祉）



| | | | | | | | | |
|-----|-------|-----|------|-------|-----|------|----------|-----|
| 目標1 | 貧困 | 2.2 | 目標7 | エネルギー | 2.6 | 目標13 | 気候変動 | 2.4 |
| 目標2 | 飢餓 | 2.2 | 目標8 | 経済成長 | 2.6 | 目標14 | 海の豊かさ | 1.9 |
| 目標3 | 健康福祉 | 2.5 | 目標9 | 技術革新 | 2.5 | 目標15 | 陸の豊かさ | 2.4 |
| 目標4 | 教育 | 2.7 | 目標10 | 不平等 | 2.3 | 目標16 | 平和公正 | 1.9 |
| 目標5 | ジェンダー | 2.6 | 目標11 | まちづくり | 2.7 | 目標17 | パートナーシップ | 2.4 |
| 目標6 | 安全な水 | 2.3 | 目標12 | 責任 | 2.7 | 平均 | | 2.4 |

「地域活動部会」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～



大津市内21小学校の3月卒業式・4月入学式に、パンジー花鉢をラッピングして届けました

卒業式・入学式の準備共に、真野北小学校で地域からの参加者を得てラッピング作業した。卒業式の準備、ラッピング配達・引取りの延参加者は、同窓会員26名、地域12名の計38名参加。

入学式も同様な活動となり、同窓会員29名、地域8の計37名が参加した。届けた小学校は、小松小、木戸小、和邇小、小野小、真野小、真野北、堅田小、伊香立小、仰木の里小、仰木の里東小、仰木小、雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、唐崎小、志賀小、長等小、逢坂小、平野小、中央小の21小学校でした。

各小学校から大変に感謝されたので次年度も考えて行きたい。



真野北小学校でラッピング（3月18日）



逢坂小学校式典（3月19日）



平野小学校式典（3月19日）



真野北小学校で集合写真（4月7日）

大津支部全体としての活動はありませんでしたが、4地域としての本年度の活動は始まりました。今後全体としての活動があるときにはあらかじめ連絡させていただきます。

4地域の活動

比叡地域

- 入学式花鉢搬入・引き取り 4月7・8日 17小学校 計19名（一般6名）
- 児童クラブ菜園支援 4月12・23・30日 真野北小学校 各日1名
- 除菌作業 4月15・16・20・21・23・28・30日 真野北小学校 各日1名
- 校庭美化活動 5月10日 志賀小学校 10名

- 花壇整備 5月11日 真野北小学校 1名
- 児童クラブ菜園支援 5月11日 真野北小学校 1名

中央地域

- 入学式花鉢搬入・引き取り 4月7・8日 4小学校 4名
- 花壇整備 平野小学校 1名
- 図書整理 平野小学校 2名+一般1名

石山地域

- 校庭美化活動 5月10日 石山小学校 14名
- 5月12日 南郷幼稚園 7名
- 5月14日 南郷小学校 14名

瀬田地域

- 図書整理 4月12・19・26・30日 瀬田南小学校 計16名（内在校生2名）
- 花壇づくり 4月20日 瀬田東小学校 3名+一般3名
- 花壇づくり 5月13日 瀬田東小学校 4名+一般3名



2020(令和2)年度 小学校支援活動実績表 (4月1日～3月31日)

| 地域 | 応援項目 | 学校名 | 回数 | 参加者数 | 内在校生 | 内協力者 |
|------------------|--------|--|-----|------|------|------|
| 比 叡 | 校庭美化 | 木戸小、仰木の里小、仰木の里東小、仰木小、真野北小、真野小、坂本小、堅田小、小松小、小野小、雄琴小、伊香立小、日吉台小、和邇小、唐崎小、真野北児童クラブ | 22 | 158 | 25 | 2 |
| | 校庭花づくり | 真野北小、堅田小、和邇小、小野小、伊香立小、仰木小、仰木の里小、仰木の里東小、雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、唐崎小、真野北児童クラブ | 80 | 101 | 3 | 23 |
| | パソコン教室 | 真野北小 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | 小学校除菌 | 真野北小 | 27 | 27 | 0 | 0 |
| | 比叡地域合計 | | | 131 | 288 | 28 |
| 中 央 | 校庭美化 | 長等小、逢坂小 | 2 | 29 | 4 | 0 |
| | 図書整理 | 平野小 | 6 | 33 | 5 | 0 |
| | 校庭花づくり | 平野小 | 15 | 25 | 2 | 0 |
| | 中央地域合計 | | | 23 | 87 | 11 |
| 石 山 | 校庭美化 | 南郷小、石山小、青山小、晴嵐小、南郷幼稚園 | 5 | 51 | 12 | 0 |
| | 小学校除菌 | 晴嵐小 | 59 | 158 | 0 | 0 |
| | 石山地域合計 | | | 64 | 209 | 12 |
| 瀬 田 | 校庭美化 | 瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、瀬田北小、瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園 | 14 | 100 | 16 | 0 |
| | 校庭花づくり | 瀬田東小 | 8 | 56 | 7 | 18 |
| | 縫製授業 | 瀬田東小 | 13 | 19 | 0 | 2 |
| | 図書整理 | 瀬田南小 | 21 | 71 | 10 | 14 |
| | 瀬田地域合計 | | | 56 | 246 | 33 |
| 大津支部 小学校支援活動 総合計 | | | 274 | 830 | 84 | 59 |

2020(令和2)年度 まちなか支援活動実績 (4月1日～3月31日)

| 応援項目 | 回数 | 参加者数 | 内在校生 | 内協力者 |
|--------------------------|----|------|------|------|
| 滋賀短期大学ノートテイク支援活動 | 16 | 16 | 0 | 0 |
| スッキリ士隊 (違法広告物除去) | 1 | 6 | 0 | 0 |
| 境内美化 (建部大社) ボランティア | 2 | 21 | 0 | 0 |
| 瀬田川クリーン作戦ボランティア | 1 | 6 | 0 | 0 |
| 唐崎やよい作業所ボランティア | 7 | 46 | 19 | 1 |
| スポーツゲームボランティア(びわ湖毎日マラソン) | 1 | 41 | 8 | 0 |
| 大津社協支援ガーゼマスク縫製 | 1 | 3 | 0 | 2 |
| 大津支部 まちなか支援活動 総合計 | 29 | 139 | 27 | 3 |

事務局からのお知らせ

・知名度向上プロジェクトについて

5月7日執行役員会、5月17日役員会で過去2年間プロジェクトでの活動の総括報告を致しました。知名度向上は大津支部にとっても、レイカディア大学にとっても永遠のテーマでありますので、検討メンバーを一部入れ替えて今後も活動を継続いたします。また総括資料は皆様へ配布致します。今後の活動内容に関してご意見ありましたら事務局まで連絡お願い致します。皆様のご支援、ご協力宜しくお願い致します。

・39期、40期会員の地域活動調査アンケートについて

5月7日執行役員会、5月17日役員会でアンケート集約結果を報告いたしました。これまでアンケートになかった項目も一部追加しており、非常に貴重な資料となっておりますので今後、

- ① 5部会にも情報提供して行き、各部会の新たな活動展開を期待いたします。
- ② 大津支部並びにレイ大の知名度向上に関する情報は知名度向上PJで精査し活動の幅を広げることを検討いたします。また集約結果は追って皆さんへ配布を考えています。過去のアンケート結果との比較もありますので見て頂き内容についてご指摘ありましたら事務局に連絡宜しくお願い致します。

39期、40期のアンケート回答者の皆様、アンケート回答有難うございました。

尚、「レイカ大津地域活動アンケート調査のまとめ報告」の要約を次ページに掲載しています。

・お知らせ

① Walatte(エールポレーション機関誌)に絵手紙同好会の活動が紹介されました。

瀬田地域の齋藤治子様(19期陶芸)はレイ大卒業後「ほのぼの絵手紙サークル」を同窓会メンバーと苦勞して立ち上げられて来ました。

今では一般市民の方も参加されて地域交流に力を注いでおられ、楽しく活動されておられます。とにかく何事にもアグレッシブなお方です。今後ともサークルの発展を期待しております(15ページに齋藤さんの投稿があります)。

② イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」活動

大津支部は「イオンスタイル大津京店」と「マックスバリュ 膳所店」にキャンペーン登録をしております。

毎月11日に黄色いレシートの投函を頂いており、投函頂いたレシート合計の1%に相当する金額がイオンカードで支給されます。

大津支部の皆さんと一般のお客さんのご協力の結果、2020年度は17,800円を頂き、コピー用紙の購入に使用させて頂いています。



・役員会と執行役員会の日程

| | | | | |
|----------|-------|----------|--------|----|
| 8月6日(金) | 執行役員会 | 生涯学習センター | 9時30分～ | 確定 |
| 8月26日(木) | 役員会 | レイ大大教室 | 9時30分～ | 確定 |
| 9月2日(木) | 執行役員会 | 生涯学習センター | 9時30分～ | 確定 |
| 9月22日(水) | 役員会 | *レイ大大教室 | 9時30分～ | 予定 |

10月は執行役員会、役員会ともありません。

*レイ大大教室に関しては予約が確定するのにレイ大と調整が必要ですので役員会日程は予定として考えてください。確定次第連絡いたします。

レイカ大津 39 期・40 期卒業生 地域活動アンケート調査のまとめ報告

表題のまとめ報告の要約を下記します。詳細は別途紙ベースで皆様に送付いたします。
今回は従来のアンケートに

(1) 今後 活動仲間を増やしたい、教わりたい趣味・特技

(2) レイ大及び同窓会の知名度向上に関するアイデア

を追加しました。折角のアンケート調査ですのでアンケートを通じて大津支部内で活動の輪を広げる事が出来ないかと、知名度向上絡みで活動の幅を広げられないかを狙ったものです。

【活動アンケート結果全般について】

39 期、40 期の皆様はほぼ健康で、就業していない方が圧倒的に多く、定年延長に伴いレイ大入学の年齢が高齢化していますが、そのために地域への活動参加を早くからされており同窓会活動よりも他団体の活動が増加しています。

結果として他団体で重責を担っている方が多く地域に根付いた活動を多くの方が行っています。更に個人の趣味・特技についての活動は広範囲にわたっているにも拘わらず精力的に活動をされています。この点が 39 期、40 期の特徴と思われます。

【活動アンケート結果伴う今後アクション】

1. 趣味・特技で活動、趣味を通じて仲間を増やしたい、活動の輪を広げたいと思われる内容については、5 部会で検討頂き採用可否を決定して頂きます。

2. 同窓会の応援

活動の一部に応援要望がありますので、内容を吟味させて頂いて対応を検討いたします。

3. 知名度向上について

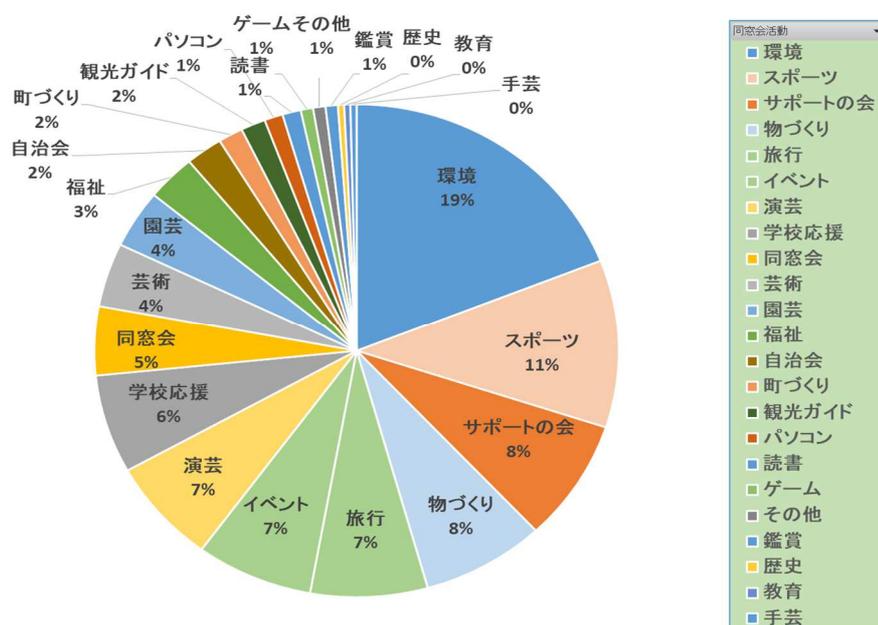
提案内容は大半検討しておりますが、再度プロジェクトメンバーで精査してみます。

【会員活動の集約をグラフ化】

今後、このグラフ化を継続していければ活動項目、活動内容等の比較をすることで活動の仕掛け等に繋がる展開が期待できると思われます。

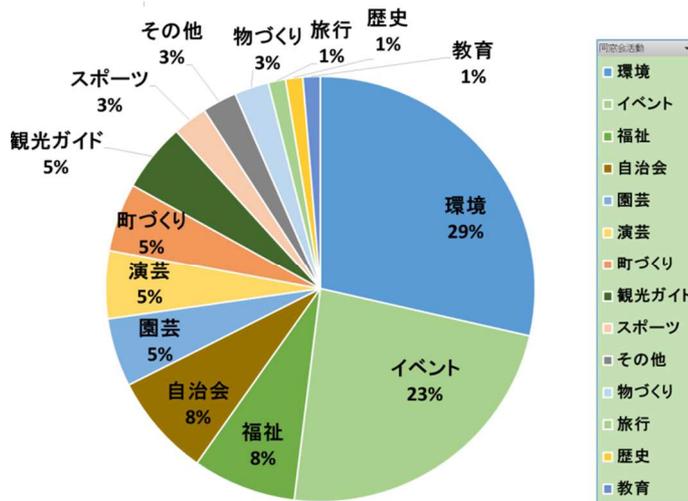
1. 地域での活動全般

活動分野が広範囲にわたっていることが分かります



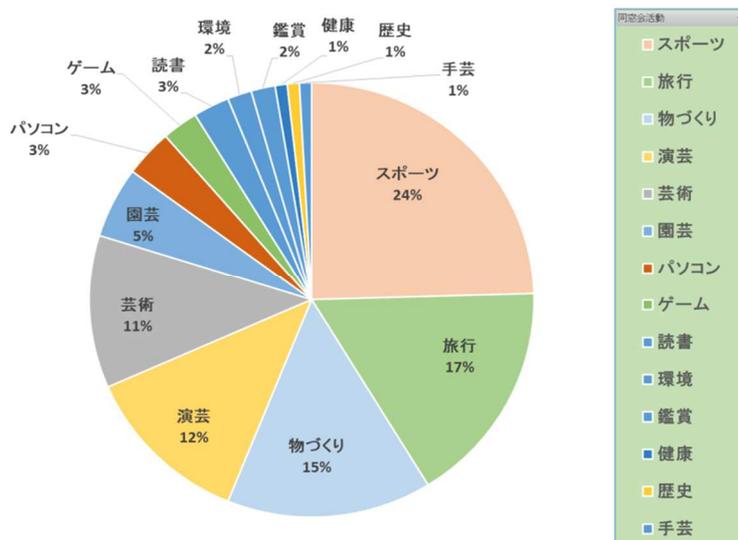
2. 同窓会以外の地域活動

環境とイベント関係の活動で50%を超えています



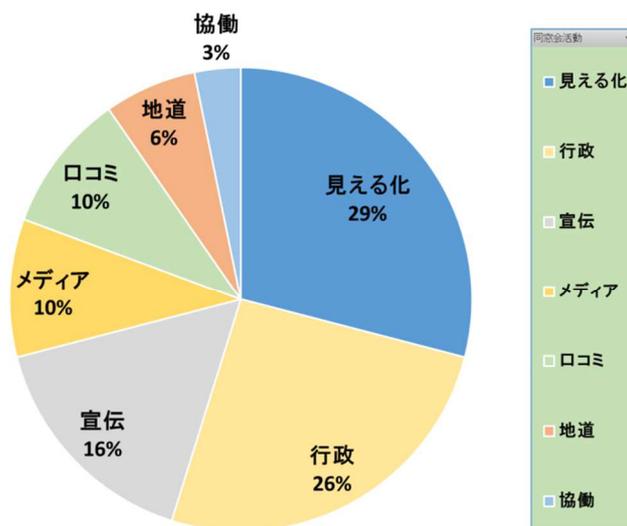
3. 趣味・特技の活動（仲間を増やしたい・教りたい）

スポーツ・旅行に関する活動が多く、の仲間作りのヒントになりそうです



4. 知名度向上アイデア

活動の「見える化」の施策推進、行政へのアプローチの推進がキーポイントです



ほのぼの絵手紙

齋藤 治子 (19期 陶芸・瀬田南)

私はレイカディア大学陶芸学科を平成10年に卒業しました。同窓会の役員の時に同窓会メンバーの方から絵手紙クラブ発足の依頼を受け、平成19年に先輩の方と協力して絵手紙教室を立ち上げました。

活動としては毎月1回、大津市立中老人福祉センターで第1月曜日の10時に開催しています。発足当時はレイカディア大学の卒業生が中心に8名で始まりましたが、今では作品展を見て一般市民の方々の参加も増え同窓生3名、市民の方12名で活動しております。多くの方が初心者ようですが、毎回みなさん楽しく筆を進めているように感じます。

教室では、おしゃべりを楽しみに、絵も字もうまい下手をあまり意識しないで、送る相手の方を思いながら絵を描くことに心を集中させ描き上げます。

作品には描いた人の特徴や人柄が出ます。個性が味わいとなりこの世で一つの素敵な作品になるので上手に描くことはないのではと、絵も字もなかなか上達しない私は言い訳しながらいつも描いています。

題材は、季節の野菜・果物・草花、節分のお面やおひな様などの年中行事を描くことも多いのですが、配色や濃淡のつけかたなどとても親切に、分かりやすく、ひとりひとりに先生からアドバイスを頂き、表現力、観察力も大事だと毎回痛感しています。

また毎月のテーマの題材を描くことで季節を感じる事が出来る事がとてもうれしく、ほっこり幸せな気分になります。普段の買物でも野菜や果物などをじっくり観察してしまうようになり、自分で気がついて笑ってしまう時もあります。

今後も、ほのぼの絵手紙の教室が新しい憩いの場となり、何時までも皆と仲よく楽しく健康に気をつけ永く続く事を願っております。

年に数回、作品展にも好奇心を持っていろいろと挑戦していきたいと思います。また作品展に参加して多くの方に観ていただくためにも少しでも上達出来れば何よりのしあわせです。

今は、コロナ禍で行動が制限され、お友達にもなかなか会うことが出来ません。絵手紙は会えない今こそ心が繋がることになるのではないのでしょうか。

地域の皆さんに観ていただく機会が少ないのですが、展示出来るようになれば多くの方に絵手紙の素晴らしさ、楽しみを知っていただければと思います。人との繋がりや出会いはとても大切です。もし興味を持たれたら一度見学にお越しください。一緒に楽しく絵手紙を勉強してみませんか。



◆今後のイベント開催情報

5月27～29日：大津市生涯学習センター（10月に延期）、

7月2～5日：アル・プラザ堅田、7月23～25日：平和堂石山

パソコン同好会

毎月2回の開催で既に250回以上、講師を交代しながら約15年、教室を開いてきました。

現在19名の会員(一般市民6名)で勉強を進めています。中村(健)講師が担当されてからは、「エクセルでお絵描き」や、最近はスマホ講座を始めています。コロナウイルスの関係で現在新規募集は厳しい状況ですが、ワクチンの接種が終われば新規受け入れも可能になるでしょう。

1. 開催日：毎月第1・第3火曜日 13:30~15:30
2. 会場：中老人福祉センター2階 学習室(大津市打出浜) 駐車場有り
3. 内容：①ワード「チラシ・案内文」 ②エクセル「家計簿・表計算」 ③写真の編集
④インターネット演習(モバイルルーター利用) ⑤スマホ講座 等々

※個人別USBメモリーの提供で欠席の講座も復習出来ます

4. 募集対象者：パソコン初級者・中級者
5. 年会費：2,000円〔途中入会も同額〕
6. 準備物：ノートパソコン・場合によってスマホ
※OSはWindows 8、10に限る。

入会希望者は下記担当者にご連絡下さい。

世話人 佐瀬章男

☎：077-543-5926 メール：sase@opal.plala.or.jp



コロナ禍の学習風景

書道同好会

内田久代先生(レイ大書道部講師、23期文芸)指導の下に、文字に興味のある方が参加されています。レイカディア大同窓生だけでなく一般の方もおられ、日常の字を美しく書きたい方、芸術的な文字を書きたい方、自分と仲間づくりしたい方などそれぞれの目的をもって参加されています。

年一回、中老人福祉センターの文化祭にて作品発表会(昨年、今年はコロナ禍にて中止)にて作品発表することで自分が一歩ずつ前進します。

- ・定例活動日 毎月第2・第4木曜日 13:00~15:00
- ・活動場所 中老人福祉センター
- ・会費 月500円
- ・連絡先 荒堀 勝正 電話 077-543-5552



レイカディア大学の2年半を振り返って

西田 一夫 (41期 地文・晴嵐)

私達、第41期生は、平成30年10月2日に入学させて頂き、令和3年3月26日に卒業をさせて頂きました。平成と令和の2つの元号に跨ったレイカディア大学生であったと共に、半年間の休講期間の為に、在学期間が2年半であったという、レイカディア大学生としては特別な経験をさせて頂いています。

新型コロナウイルス感染問題という恐ろしい状況が、在学期間中に降りかかってきた事により、高齢者である私たちは、感染し死に至るのではないかとこの恐怖心と共に、大学が継続され無事に卒業できるのだろうかという不安感が大きく広がりました。しかし、逆に、同じ思いを持ったクラス仲間の人々との連帯感はより大きく強まったのだと感じています。先輩の方々も経験されたことのないような環境下で、クラス仲間のお互いを思い合う事が出来たレイカディア大学生生活でした。それ故に、其々の個性を尊重し、尊敬し、認め合える関係を築くことが出来た2年半であったと思います。

卒業後、私達第41期地域文化学科の多くの者がサポートの会に入会し、更に、同窓会にも入会を致しました。大津支部同窓会にも5人が顔を揃えました。私たちは今後も様々な機会でも連携し、同窓会活動や社会貢献活動にも積極的に取り組み、広い意味でのレイカディア大学の名を高める活動に取り組ませて頂きたいと考えております。先輩の方々、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



大津支部入会にあたって

野村 久司 (41期 園芸・膳所)

レイカディア大学への入学は、退職して時間があつたことや、家の庭木の手入れに四苦八苦していたことから園芸学科に入りました。思いもかけず学科長に就いたことや、フォトウォーククラブ部長を引き受けたこと、野菜販売に向け苦勞して玉葱・ジャガイモを育てたものの、コロナ禍で学園祭が中止となり在校生に購入してもらったことなど、非常に目まぐるしい2年半を過ごしました。これらの経験によって、年代や地域を超えた人間関係を育めたことが何よりの財産であると感じています。

クラスの皆さんとは卒業後も月1度お会いする機会があり、老後でも新しい人間関係ができたことに喜びを覚えます。

昨年からは再就労して、時間の余裕がなくなりましたが、できる限り同窓会活動に参加して、諸先輩方との交流を楽しみにしています。



誓いあった仲間とともに

前田 賀屋子 (41期 健康づ・瀬田南)

レイカディア大学41期生として2021年3月に卒業し、4月から同窓会に入会させていただきました。在学中に仲間とともに取り組んだ『スポーツボランティアで仲間づくり』。卒業後もスポーツボランティア活動をとおして、社会貢献活動を一緒に行っていこうと誓いあっていました。その活動をクラスの仲間へも広げ、かけがえのない友でありたいと願って活動を開始しています。

まずは、クラス全員で「レイカディアえにしの会」へ団体登録し、いつでも誰もがやりたい時に出前公演や地域ボランティア活動など一緒に参加できる仕組みとして、クラスサークルを発足すべく世話役メンバーの選出をすませ、準備に取りかかっています。

健康づくり学科では「地域における健康づくりへのアプローチ」として、卒業直前に地域サロンを活用した実践授業で集大成のイベントを体験します。ここでは、クラス全員で高齢者施設へ出向き公演するのが恒例になっています。この活動をきっかけに、私たち「Sボラ41」の仲間たちの出前公演活動が始まりました。現在までに、湖南省を始め彦根市などへ出向いています。

最初は、ドキドキしながら自分が担当するテーマを必死で何とかやることしかできませんでしたが、場数を踏む毎に、内容に工夫を凝らしながらレベルを上げられるようになって、今では自負できるようになり、「Sボラ41 健幸体操」として3部構成の独自プログラムで行っています。

- ① Sボラ体操 (音楽♪に合わせて体を動かすリズム体操)
- ② 脳トレ体操 (昔を懐かしみ回想しながら、楽器を鳴らして手遊び体操)
- ③ 手話体操 (手話ソングを歌いながら、手話を覚えられる体操)



♪ズンドコ節調で童謡を歌って体操



童歌で楽器を鳴らして手遊び



手話ソングで手話を習得

私たちが活動を始め3か月が過ぎ、現在は高齢者向けのプログラムが中心ですが、幅広い年齢層へも展開できることを目指しています。参加型プログラムのみならず、子ども向け、障害者向け、比較的若いシニア向けにゲーム感覚で参加できるプログラムも取り入れようと夢がふくらみます。

先輩方々からアドバイスをいただきながら、自分たちができることを増やし、心地よいやりがいを感じられる活動として、自分たちのみならず参加者のみなさんと楽しい時間を共有しながら、仲間とともにスポーツボランティア活動を継続していきたいと思っています。

近江の歴史人物と大河ドラマ考

大平 恭文 (41期 地文・晴嵐)

I、定年後の第2の職場から、仕事で県社協へは時々来ていた。無料の老人大学が出来たことは知っていたが、今は名前も変わり有料となっている。

さて、大河ドラマは第1作、井伊直弼を描いた「花の生涯」からほとんど見ている。昨年の「麒麟がくる」では、坂本に観光客が来ると思いきや、コロナ禍で元の田舎に戻ったとか。今年の「青天を衝け」は幕末の江戸時代、鎖国をしていたが外国船が相次いで来港し、清国がアヘン戦争で敗れ、対外危機意識が高まり、国防問題が論議され、倒幕運動が起こってくる時の話である。

II、「青天を衝け」の時代背景は、老中阿部正弘が、アメリカ・ロシアと和親条約を結び、米からは日米修好通商条約の調印を迫られ、次の老中堀田正睦が上京し勅許を得ようとしたが、光明天皇(攘夷論者)は拒否した。政治は幕府が行っていたので、本来勅許を得る必要はない。

この頃、将軍継嗣問題が起こり、一橋派と南紀派が対立し、南紀派の井伊直弼が大老となり、条約締結と家持の将軍継嗣指名を行った。これに反発した水戸藩、長州藩、薩摩藩は、朝廷工作を行い「戊午の密勅」が下された。

朝廷の政治関与は前代未聞のことで、井伊大老は幕藩体制を守るべく関係した者の処罰を行った。この時代では謀反者への当然の処罰であるが、井伊大老は悪者扱いされてしまう。

さらに、幕府を支えるべき御三家の水戸藩が関わり、「桜田門外の変」を起し井伊大老は暗殺された。ここから幕府の権威が失墜し弱体化が始まり、倒幕運動へ進む原因を作った。

III、江戸幕府の正学は、林羅山を中心とする朱子学(支配体制擁護論)で武家政治の基礎理念とされたが、皮肉なことに天皇を中心とした国作り(尊皇運動)が起こり、後に倒幕、明治維新へと繋がっていく。

一方、同じ儒教の一派で陽明学(道徳理論の再生)の代表的な学者として、中江藤樹(近江聖人)がいた。これを学んだのが、吉田松陰、西郷隆盛、大塩平八郎や渋沢栄一などで、反体制的な理論の対立が明治維新の原動力となった。

朝廷(光明天皇)は、将軍後見職の徳川慶喜からの圧力で、安政5カ国条約に勅許を与え攘夷を翻した。これで攘夷はなくなり、開国し富国強兵へと方針の大転換が起こった。

渋沢栄一が「日本経済の父」なら、井伊直弼は「開国の父」である。横浜の掃部山(かもんやま)公園には、開港に貢献したことで井伊大老の銅像が立っている。



IV、歴史は勝者の都合で書き換えられ、小説は作家が面白く作り、ドラマは脚本家や制作者が視聴率至上主義で制作している。今や大河ドラマは町興しの一大イベント化・誘致合戦化し、県も予算を組み、撮影場所の提供やエキストラの動員などで協力している。

ドラマはフィクションですと表示すべきですが、年寄りには余り本気にせず飲みながら、ドラマを楽しむことにしましょうか。

追記：膳所藩の幕末は、課題学習で仲間と作成した「19世紀の膳所藩」を参照して下さい。

チャレンジ精神で

稲田 伸子 (41期 健康づ・瀬田)

レイ大では、クラスの雰囲気も良く想像以上の楽しい・有意義な時間を過ごすことが出来ました。運動は苦手ですが、仲間の励ましを受けて、健康づくりについて学ぶ事ができ本当に良かったと思います。また、ホームページを担当し、写真・ビデオを撮り掲載するのが楽しみとなりました。

3月からは、課題学習の延長でクラスの仲間とサロン活動を始めています。

シニアの方向けに、健康体操を中心に、脳トレ体操、手話歌で手話に親しんでもらうなど、体操と音楽を中心にした参加型のプログラムで実施しています。皆さんに楽しんで頂くと共に、私達も楽しく、生きがいのある生活で健康寿命を延ばすようにと頑張っています。

また、滋賀県障害者スポーツ協会の指導員として10年、主に卓球の全国大会に参加する選手・候補選手の練習会のお手伝いをしています。技術的な指導は出来ませんが、まだまだ、ピン球拾いなどの雑用や選手の精神的な支えになればと思っており、選手達からも一杯元気をもらっています。

2025年には、滋賀で国スポ・障スポが開催される事もあり、ボッチャなどのパラスポーツにも興味を持ち始めています。この大会が終わるまでは協力を継続するのが夢です。

同窓会に入会させて頂き、今までの趣味（手話・卓球）を活かし、皆様と共に活動するのを楽しみにしております。



よろしくお祈いします

近藤 明(41期 地文・比叡)

2021年3月に地域文化学科を卒業しました。コロナ禍で6か月間休校という異例の事態となりましたが、何とか卒業することができました。

県外出身であるため、もっと滋賀県のことを知りたいと思って地域文化学科を選びました。良きクラスメートに巡り会えたことや、彦根、伊吹、田上、葛川、沖島、延暦寺などの校外学習も楽しくて充実した学生生活でした。クラブ活動は「城郭探訪会」に入り、様々な城址を仲間と共に巡り歩くことができました。

ボランティア活動はレイ大の必修科目で選んだ「古切手の整理」をそのまま続けています。他に観光ガイドをしてみたいと思いますが、重い腰が上がっていません。

趣味は街道歩きです。今までに旧東海道(三条大橋→日本橋)、旧西近江路・七里半街道(大津→敦賀)、旧北国脇往還(関ヶ原→木之本)、琵琶湖一周を歩き、旧中山道は(三条大橋→下諏訪)まで歩いています。現在はコロナ禍で遠出ができないため、旧街道で滋賀県一周を目指しています。街道の絶景を2つ紹介します。以上、どうぞよろしく願いいたします。



旧中山道塩尻峠から諏訪湖



旧東海道薩埵(さった)峠から

これからは地域の仲間とテニス

梅村 則雄 (41期 健康づ・瀬田北)

レイカディア大学同窓会大津支部のみなさん、こんにちは。瀬田地区の新人うめむらです。よろしく願いいたします。

レイカディア大学について、入学前は学校へ行って講義を聞いて実習するだけのカルチャースクールのようなところかと思っていました。ところが実際は授業の準備・クラス活動・大学祭など学生が自主的に運営するようになっていました。そのため、クラスメンバーのきずながより深まったのだと思います。卒業後もクラスメンバーとの交流は続けていこうと思っています。

在学中は色々掛け持ちで生活していました。①週3回半日の仕事、②地元自治会の会長としての仕事、③加入しているテニスクラブのチーム代表者としての仕事、④レイカディア大学での学習や活動、これら4つのことが同時進行で進んでいきました。次から次に異なることを処理しなければならないので頭の切り替えが大変でした。でも振り返れば充実した日々だったと思います。

今後ですが自治会長は卒業して地域の老人クラブ(老人という言葉は使いたくない、シニアクラブと呼びましょう)に加入し、同世代の仲間との交流を深めていければ、と思っています。まずはテニスやグラウンドゴルフなどスポーツでの交流とシニアライフに役立つ講習会の企画などに取り組みたいと考えています。

写真に写っているのは愛犬モモちゃんです。孫は一人いますが、同居はしていないので家ではモモちゃんと遊んでいます。ちなみにモモちゃん、夜は嫁と一緒に寝ています。



【わが町比叡地域の歴史】 滋賀海軍航空隊

山崎 由弘 (38期 陶芸・唐崎)

開設は、ミッドウエー海戦以降日本海軍の部隊・教育機関の一つで、急増した搭乗員養成への対策として全国に18カ所の練習航空隊が新設され、その中の一つとして、滋賀郡下阪本村(現在の津市唐崎周辺)に1944年に創設され、海軍飛行予科練習生甲飛第13・14期の生徒を教育するため、太平洋戦争中に新設された予科練教育航空隊である。

1942年(昭和17年)農作物の収穫期後に、海軍協会滋賀県支部員・在郷軍人会・勤労報国隊・学校報国隊の協力を得て、短期間で約170,000坪の広大な土地を海軍省が買収整備の上、飛行訓練が可能にして三重海軍航空隊の分隊として開隊する。この敷地は、航空隊は宿舎を併設した兵学校・滑走路・格納庫・訓練機銃掃射場があり、グライダーや零式艦上戦闘機の訓練機が配備され、戦争末期、七二五海軍航空隊が滋賀海軍航空隊に移籍する。

第二次世界大戦中、この地にあった海軍航空隊では約1万人もの若者が厳しい特別訓練を受け、全国各地の実戦基地に特攻隊要員として配属され、愛する祖国のために多数のものが帰らぬ人となった。現在JR湖西線の唐崎駅前に、戦後50周年を期に若くして逝った人々への哀悼と戦争の空しさ、平和の尊さを後世へ伝えんが為、生き残った隊員達の手によってこの思い出の地に、『平和記念』碑が建立され、唐崎神社には『桜と至純』の碑と『名勝 近江八景 唐崎の夜雨』の碑が建立されている。隣接した現在の陸上自衛隊大津駐屯地の地は、当時の大津海軍航空隊で、他県で3年間基礎訓練を受けた、飛行技術訓練生を約1年間この地で操縦・偵察術の教えを受け実践部隊に送る隊であり、現在も湖辺に水上飛行機の格納庫が残っている。

滋賀海軍航空隊の遺跡として、

- 正門・・・・・・・・現在の鶴喜そば唐崎店付近
 - 西門・・・・・・・・現在のハッピーテラダ唐崎店付近(衛兵の詰所と炊事場あり)
 - 滋賀空・司令長官・・別府明朋の屋敷(隣松園)
 - 飛行場・滑走路・・現在の唐崎小学校正門前 → 運動場 → 際川までの約1.2km 幅80m
 - 整備工場・倉庫群・・現在の毎日牛乳(滋賀工場)あたり
 - 引込線・・・・・・・・旧江若鉄道(現在JR湖西線高架下)、平和堂北辺よりあかね町通りまで
 - 防空壕(滋賀空)・・現在滋賀里にある陸上自衛隊大津駐屯地の射撃訓練場
 - 防空壕(大津空)・・高砂町のあまつち教会裏から崇福寺南まで約500mが2本の洞窟
 - 燃料の隠し場・・百穴古墳 大型爆弾の隠し場・・日吉大社
 - 第一練兵場・通信講堂・兵舎・・JR唐崎駅東側(唐崎中学校・全国市町村国際文化研究所等)
 - 第二練兵場・16期生兵舎・・現在陸上自衛隊大津駐屯地の大津自動車教習所
- その他、指令室・通信室・高射砲機銃・兵舎・アンテナ塔・病舎・格納庫等が点在する。



第一連兵場・通信講堂・兵舎跡
現在のJR唐崎駅東側 唐崎中学校及び
全国市町村国際文化研究所付近



飛行滑走路 整備工場 倉庫群跡
現在のJR唐崎小学校及び
滋賀大教育施設付近

(写真はGoogleによる)

いろいろ思う今日この頃

堀口 唯子 (26期 生活・日吉)

昨年、年明けごろに始まった新型コロナウイルス感染症問題で、世の中全般が暗い気分になっているように思われる今日この頃です。辛抱、我慢、自粛と言われながら早くも二年目に入っていますが、いつになったら終息するのか、国民全員が心配していますが、まだまだ将来の見通しも難しいようです。

新聞やテレビでは都道府県ごとの日々の感染者数が発表され、その数に一喜一憂しながらも、お隣の京都や大阪の感染者が増えていることには特に心配しています。医療機関や飲食店で働く方は本当に大変だと思います。

飲食店には時短要請が出され、市民には不要不急の外出は控えるように言われていますが、スーパーや一部の行楽地には多くの人出があると聞いています。皆さんコロナの怖さは分かっていますが、1年以上の自粛生活で気持ちの変化が表れてきているのでしょうか。外食の際はマスク会食をするよう言われています。一口食べてマスク着用、外してまた一口、食事が終わればマスクをして下さいと店の人に注意される、そんなことをしてまで食事会をするとは考えられませんが、今は感染の拡大を防ぐためにも各自が責任を持った行動をしないといけないと思います。



私も不要不急の外出の自粛を守っています。その為か、運動不足でフレイルになり困っています。出来るだけ簡単なストレッチ等を心がけるようにしていますが、とてもおよびません。

今回のコロナウイルスで閉じこもりをしていますと、横文字が多く耳に入ってきますが、なかなかその意味が頭に入ってきません。皆様もお感じになっていませんか。

フェースシールド、クラスター、テイクアウト、リバウンド、ワクチンパスポート、ゴートウトラベル、ゴートウイート、ロックダウン、パンデミック等々

テレビによく出てくる政治家や評論家の方が使っているようですが、耳触りが良いのか、ご自身の知識を披露したいのか分かりませんが、適切な日本語もあると思いますね。

さて、2011年3月11日に発生した東日本大震災から早くも10年になります。私はテレビを見てましたが、あの恐ろしい津波等で多くの方が犠牲になりました。亡くなられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。災害は忘れた頃にやってくると言われていますが、まさにその通りです。私達が住んでいる滋賀県では、お陰さまで比較的災害が少ないと言われていたのですが、琵琶湖西岸断層帯で震度7強、南海トラフ巨大地震で震度6強などが、これから30年の間に襲ってくるそうです。普段から防災・減災を考えることが大事だと思います。



最近思い当たることは、昔と違って井戸端会議のようなご近所との関わりが希薄になっていることです。隣は何をする人ぞ、と言いたいくらい出会わないのです。災害が起きることは困りますが、万一起きてしまえば、気楽に声をかけあえる状態にしておきたいと思います。お互い普段から声をかけあえる人対人の関係になれることを願っています。

日本百名城めぐり

遠藤 修一(39期 陶芸・南郷)

日本百名城は、2006年に財団法人「日本城郭協会」が定めた名城の一覧です。もともと城は好きだったのですが、近場の城を訪れているうちに、100名城なるものがあるのを知って、「ええい。面倒だ！全部回ってやれ」という気持ちが芽生えてきました。とは言ったものの、個々の城をネットで調べていくうちに、とんでもなく壮大な計画であることがわかり、何度か躊躇したものです。

たとえば、北海道にあるアイヌの砦跡とされる「オンネモトチャシ」(名城第一号)。この城をめぐるには飛行機で中標津へ飛び、空港バスで根室へ着き一泊。翌日、バスに乗って納沙布岬へたどり着き、さらに徒歩で約30分という場所にあります。ようやく城跡に着いてみたら、ただただ草原が広がっているだけという悲しさ。でも、根室の観光協会で、「祝100名城達成！」という横断幕を広げて記念写真を撮っていただきました。

国宝である松本、犬山、彦根、姫路、松江の各城や、現存12天守(弘前、丸岡、備中松山、丸亀、伊予松山、宇和島、高知、国宝5城)などは有名ですね。

いろんな城の写真を撮ったり、天守内の展示を観たりしながら、その城の歴史も調べてみました。やはり戦国時代の築城が多いですが、徳川の世に建てられた城も四国や九州には比較的多くあります。残念なことに明治の「廃城令」によって大部分の城が壊されてしまいました。戦後になって、各地で城の復元が進み、観光施設や資料館として人気を集めています。

城巡りは車ではなく、電車・飛行機・バス・徒歩で行いました。さぞかし費用が掛かっただろうに、と思われるかもしれませんが、電車は青春18きっぷと老人向けの「ジパング(3割引)」を活用し、飛行機は北海道と沖縄行きのみ(ピーチ機)で、あとはひたすらバスと歩きです。1日にバス3本というルートもありました。100名城を踏破するのに約4年かかりました。

知らなかった城が1/3ほどありましたし、息を切らして登った標高500m級の山城、満開の桜や鮮やかな紅葉に出迎えられた城、苦勞してたどり着いたのに「なんじゃ、こりゃあ」というような城もありましたが、今になって思うとすべてが懐かしい思い出です。城巡りのおかげで47都道府県をすべて訪れ、各地の街づくりを知り、観光地、郷土料理、祭りなどを楽しむことができました。また、いくつかの県では、久しぶりに友人と再会し、一緒に城を巡り、一献を傾けることもできました。私が訪れた後に地震や火災でダメージを受けた熊本城と首里城の一日も早い復興を切に願うものです。

ホームページは<http://endoh7735.sakura.ne.jp/castle/castle2.htm> (日本のお城めぐり)

ユーチューブは<https://www.youtube.com/watch?v=s-Kh7dsW1go>

(日本の城めぐり～日本100名城を含む160城)



根室にて



鬼ノ城 (岡山)

大津市における再生可能エネルギーについて思う

中村 一馬 (39期 びわ環・膳所)

異常気象の原因として先ず地球温暖化があげられます。コロナウイルスの蔓延もこれが一つの原因かも知れません。はじめにお断りしておきますが、小生、科学者でも経験者でもなくズブの素人でありまして、多々誤りもあろうかと思いますがどうかお許し願えればと思います。

菅首相が2050年には温室効果ガス実質ゼロを、又、三日月滋賀県知事も湖国のCO₂実質ゼロを宣言しました。温暖化の影響により20世紀100年間で海面は19cm上昇し、2100年までに82cm上昇するだろうと言われていています。我々は次世代のためにも何としても温暖化を食い止めねばなりません。これには三つのキーワードがあると思います。「脱炭素」「循環」「分散」です。

パリ協定に基づきCO₂排出量を日本は2030年度には26%→46%(2013年比)、2050年度に80%以上の削減目標を課せられています。火力発電や原子力発電に代わるものが求められているのです。ここに来て再生可能エネルギー利活用の動きが活発に出て来ております。「太陽光発電」「水力発電」「風力発電」「バイオマス発電」「地熱発電」「水素発電」などが挙げられます。太陽光と地熱、水素が滋賀県には有望視されています。今回は燃焼時に一切CO₂を排出しない地球環境に最も優しいとされる水素エネルギーについて考えたいと思います。水素エネルギー先進国だったはずの日本はFCV(水素燃料電池車)の開発でも見られるように今や中国や韓国に追い抜かれトヨタとホンダがようやく本腰を入れ始めた段階です。乗用車、大型バス、トラック、フォークリフトクレーン車等々ガソリンや軽油で駆動しているものにその用途は広がります。あくまでもCO₂は排出せず、出るのは水だけです。問題は水素のコスト(ガソリンの10倍近い)と水素ステーションの設置など、実用への高コスト化にあります。今後量産化によってこの問題の解決に力を注いでほしいものです。

水素の製造にあたり原材料として、先ず水(電気分解)、下水汚泥バイオガス、褐炭(石炭の葛)、化石燃料、生ごみ、など多種多様なものから創ることができます。水素は決して有限ではなく、無尽蔵に創り出せるものです。ただし、燃焼、爆発などの危険性もあります。安全性に於いてはかなり進んでおり、特にFCVに於いてはほぼ完ぺきなものになっているようです。安全性が完全に確保されるのはもうすぐのことでしょう。さて、今、日本で一番水素エネルギーについて進んでいるのは福島県浪江町にある福島水素エネルギー研究フィールドだと思います。ソーラーパネルで発電し蓄電池に蓄電する。水の電気分解によって水素を製造し、発電をはじめ各家庭に水素を送り、また、燃料電池車にも供給する。この循環システムこそ小生は理想的なものだと思います。燦々と降り注ぐ太陽光で発電し、びわ湖や河川の水、或いは下水道から生ずる下水汚泥を電気分解し、水素を創り出して、大発電をする。まさに大津市や滋賀県に合った発電ではないかと思っております。森口氏と共に大津市に大津市環境基本提案書を提出させて頂きました。

また、滋賀県では本年3月、「しが水素エネルギー研究会2021」が開催されました。

地産地消エネルギーによる、クリーンな循環コミュニティ都市大津に向かって更なる発展の加速を願っております。



福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)
(提供) 東芝エネルギーシステムズ株式会社

瀬田南小学校の図書整理ボランティア活動

長 幸雄 (40期 地文・瀬田)

瀬田南小学校の図書整理ボランティア活動を始めたのは、レイカディア大学1年の地域体験学習で何をすればよいのかわからないままに、大津市ボランティアセンターと大津市社会福祉協議会の説明会でレイカ大津同窓会の活動説明を受けたのがきっかけになった。

当時の図書管理リーダー大坪さんに連絡をとって、同じ説明会に来ていた40期地域文化学科の青山さん、山本さんたちと一緒に図書管理ボランティアに体験学習を申し込み2回の体験学習を終えた。大坪さんから「無理せず・できるときにできることを・できる範囲で」続けていけば良いと言われたこともあって、在学中にも毎月1回ではあるがボランティア活動の意義を感じながら3人で楽しみながら続けてこられた。

元から図書館や本が好きであったこともあるが、活動中にも図書室授業が行われるため、子供たちが我々に話しかけてきたり我々のやることに関心を持ったりすることもあって楽しさがあった。書棚の本の整理だけでなく、図書分類表示カードを作成して新規の設置と傷んだカードの取り換えの作業やラベルの貼替えもあって、目標を感じながらできたのも良かったのかと思う。

一昨年取り組んだ図書室のリニューアルは、書架の分類を日本図書分類に則した並べ方に改修し、併せて書架のレイアウトや本の修理や処分など大掛かりな作業であったが同窓会メンバーの多くの参加があり先生方と一緒に作業をして我々の活動に学校からも大いに感謝された。また、終業式に招待され、子供たちから感謝状をもらったのもうれしい出来事だった。

現在、図書整理活動は限られた人が参加するようになってきているなかで、ボランティアとして継続して行くには多くの人に参加してもらうことで負担の軽減を考えながら取り組んでいくことが大事な取り組みになってくる。そのため新しく参加してもらえる人を増やすように、41期生と42期生の在學生にも活動計画を連絡しているが、都合のつくときに参加してもらえているので期待をしている。

昨年は知名度向上プロジェクトの取り組みの中で龍谷大学の学生がボランティアの見学体験に来て図書整理メンバーとの意見交換などの交流があり、ボランティア活動の中で刺激になった。

生徒が図書室に来て本を読んでいる姿を見ると、本の整理、分類の整備や破損した本の修復など整理された書庫、使いやすい図書室、蔵書の拡充など多くの課題を感じる。

生徒のための良い学校環境を作り、また維持継続するには不足する面をボランティア活動でサポートしていくことが今後より必要になっていくと感じている。

地域活動のボランティアは小さな積み重ねを継続していくことにより、双方に意義のある成果となって表れてきていると思う。

小学校内の活動は、先生や生徒と普段ではできないふれあいを感じる経験ができ、仲間と一緒にすることで楽しいボランティア活動になっている。



のぼり・くだり

中谷 浩治 (37期 び環・瀬田)

1. 山歩き

(1) 山登りの始まり (単独行：工業高校時代)

比良山系から眺める琵琶湖側の風景は昭和 20 年後半頃には花咲く春は赤いレンゲ畑、黄色の菜の花畑と色鮮やかに目を楽しませてくれました。秋には車窓から眺める段々畑には稲の穂がたわわに実り金色に輝いていました。初冬には田んぼに残った赤い柿の実に鳥たちが群がり食する風景が眼に残っています。

利用していた江若鉄道は昭和 44 年 (1969 年) 10 月 31 日に営業廃止となりました。昭和 27 年に工業高校を卒業するまでの 3 年間、比良山系に入るときには利用させて頂きました。この頃の山歩きは案内地図に記載されている所要時間よりどれだけ早く目的地に着くかが課題でした。

(2) 富士登山 (同行 2 人)

就職した年の夏 8 月の初めの頃、めざしたのが富士山 (標高 3,776m) でした。山頂は夏でも平均気温が 6℃しかないと聞いていたのでそれなりの用意はしましたが、足元は地下足袋、雨具は雨合羽という今では考えられない出で立ちでした。夜行列車で大阪を発ち、夏季に富士登山のバスの便がある富士駅で下車。バスにて富士山登山口に向かいます。途中、神社にお参りしたような気もしますが定かではありません。バスを降りてからガレ石の登山路を 4 時間ほど喘ぎ喘ぎ登り、休憩のタイミングもつかめずただ前へ前へと歩き、9 合目の山小屋に宿泊しました。



翌朝はご来光を拝む目的で外が暗いうちに山頂を目指し山小屋を出発し、1 時間ほどでお宮さんに到着しました。お参り後、ご来光を待ちましたが雲が多く、絵に描いたような風景は見られませんでした。雲を眼下に眺めるのは初めてのことでした。頂上滞在を早々に切り上げ御殿場口に向かう須走ルートに向かいました。2 時間程度で樹林帯に到着、地下足袋は正解でした。地下足袋のおかげで、1 歩進むと 2m くらい体が移動する感じで下山することができました。あとはバス停から御殿場駅まで乗車し、御殿場駅からは御殿場線で終点の沼津駅において、東海道線に乗り換え無事大阪に帰ることができました。車中泊と、山小屋 1 泊の山行きでした。

後で分かったことは昭和 9 年 (1934 年) の丹那トンネルの開通に伴い、東海度本線は熱海駅経由に変更され、国府津駅－沼津駅間は支線の御殿場線となったということです。山登りで気づいたのは下りの脚の疲れでした。重力による加速度がそのまま脚に加わり浮石事故につながるのではないかと感じました。

2. 近況 (コロナウイルスワクチン接種)

5 月 7 日、コロナウイルスワクチン接種 (第 1 回) のため、小雨が降る天気でしたが予約接種会場である瀬田公園体育館へ行きました。今回は高齢者 85 歳以上の年齢の方が対象になっていました。20 分間隔で人数が定められており、対象者は 40 人程度と思われそうですが付添いの方を合わせると 50 人程度が待合場所に待機していました。姿勢はそれぞれで、車椅子の方、付添いの方と着席されている方等、その姿はさまざまですが、戦中戦後の衣食住が困難な時期、本人は勿論ご家族の生活を支えてこられた姿であるというのが年配の方を大勢見た時の素直な感想です。これに時間軸を加えて考えると、自慢ではなく誇れるのではないかと思います。85 歳以上の方頑張りましょう！

(二九期 文芸)

兼題「都をどり」「春眠」「当季雑詠」

瀬田南 大坪 石山

春眠や今朝のゴミ出し間に合わず

別次元都をどりはヨーイヤ・サー



晴嵐 久保 貞邦

春眠の彼方へ消える愛読書

待ち兼ねし桜の街へ人の波

志賀 岡田 一也

都をどり表情までも揃いたる

春眠や快眠情眠レム睡眠



瀬田月輪 勝田 幸川

春眠の二度寝の夢に知らぬ街

マスクして眼は口ほどに四月馬鹿

鶉飼 敏彦
(二七期文芸・平野)

志摩の海女磯笛きかす真沙かな



豊かなる寂しき醸す柿の花

象の背やぐらりと揺るる夏帽子



このたび新入会員が28名入会されました。各種活動に参加頂きたいことと、活動内容の写真を最新のものに変更しましたので、会員の皆様への紹介を兼ねて支部の活動紹介を致します。

レイカディア大学同窓会大津支部の活動

私たちは滋賀県レイカディア大学を卒業した大津市在住者が地域貢献活動を企画、運営し会員相互の健康維持を通じて、地域発展への寄与を目的に活動するボランティア団体です

会員数258名(2021年4月30日現在)

レイカディア大学同窓会

検索

私たちの活動内容

地域社会貢献活動

小学校はじめ町中の環境美化活動など、地域に根ざした貢献活動に取り組んでいます

市民発信活動

地域社会とのつながりを深め、市民の豊かな生涯学習を支援する多彩な活動を展開しています

会員発信活動

会員同士の親睦を図り、健康維持・生涯学習を推進する多くの催しを展開しています

地域社会貢献活動

小学校校庭美化活動 低樹木の剪定・除草

現在 25の小学校、幼稚園で活動



小学校図書整理

現在 2小学校で月2回ペースで活動

小学校校庭花づくり

現在 15の小学校で活動

小学校縫製授業応援

現在 2小学校で月2回ペースで活動



一般市民・総合大学生実習受け入れ



スッキリ士隊活動
違反広告張り紙除去活動に参加



ヨシ刈り活動
びわ湖周辺のヨシ刈り活動に参加



むかし遊び支援活動
小学校・幼稚園で昔の遊びを伝授



大津まつりにボランティア参加
大津まつり運営ボランティア活動に参加



スポーツ大会のボランティア活動
びわ湖マラソン大会のコース安全支援等



近郊施設の美化活動
蓬部神社境内の樹木の剪定と除草



施設への訪問活動
園芸村島・マジック・紙芝居の題詞活動



陶芸作業所支援活動
唐崎やよい作業所で陶芸作業支援活動



社会貢献活動は大津支部主催の活動と各地域別独自の活動に分かれて展開しています
大津支部は次の4つの地域で構成されています
比叡地域
中央地域
石山地域
瀬田地域

市民発信活動

市民陶芸体験講座
年2回、市民参加で開催



パソコン教室の開催
パソコン同好会による月2回の教室開催



絵手紙教室の開催
絵手紙サークルによる月1回の教室開催



会員発信活動

定期総会
年間の活動方針と予算を決める



新会員歓迎会と大津の集い
新会員の紹介と会員の交流場作り



定期的会議の維持開催
会員への情報伝達と支那運営・親睦



新年会
会員の親睦拡大で年1回開催



健康部会活動
健康促進スポーツ大会の開催



研修部会活動
健康・環境・歴史等を研修テーマに開催



文化部会活動
会員・一般市民向け文化活動の開催



地域活動部会
地域貢献活動の推進とコーディネート



広報部会活動
支那会報「かけはし」とHPで情報発信



その他の活動

同窓会本部との協調活動
本部組織運営への参画と行事への参加



同窓会本部への役員派遣
社会貢献活動事例発表会参画

レイ大・サポートの会との連携
レイカディア大学の維持発展への参画



レイカディア大学学生募集の支援

知名度向上活動
支那活動の地域社会での知名度向上



大津市長との対談

会員動向

会員数 大津支部会員数 258名（6月1日現在）

★メールアドレス開示のお願い

レイカ大津での諸連絡には、Eメールを活用しています。メールアドレスを開示されていない方にはFAXや訪問で連絡していますが非効率的です。是非メールアドレス開示にご協力をお願い致します。

連絡先：河村事務局長 E-mail: ryo-hiro280103@nike.eonet.ne.jp

広報部会からのお知らせ

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、次号(74号)は9月下旬に発行いたします。

投稿の要領は下記の通りです。

- ・原稿締め切りは8月20日(厳守)です。
- ・内容は支部全体の活動、各部会の活動報告、各地域の活動などです。
- ・原稿をパソコンで作成される場合はWordで用紙は A4、本文の字体や大きさは MS 明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは 14～16 ポイントです。
- ・原稿の文字数は 1,200 文字以内を厳守して下さい。
- ・表題の下部に氏名(卒期、学科・地区名)をご記入下さい。
- ・写真や図があれば是非添付して下さい。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送で

〒520-0043 大津市中央4丁目1-11

住 若 富子 宛 TEL 077-525-7398

メールは 佐瀬 章男 宛 sase@opal.plala.or.jp

中村 健一郎 宛 knakamura4097@gmail.com

[編集後記]

東京オリンピックを間近に控えても、まだまだコロナ禍は収束しそうにもありません。ところで皆さんはワクチン接種もうお済みになりましたか。

さて、今73号は50号以来6年ぶりにカラー印刷でお届けいたしました。色使いや全体のアレンジなどの編集と投稿記事の収集に苦労しましたが、なんとか完成にこぎ着けました。関係各位のご協力に感謝いたします。

編集委員

岩田和彦・藤田順一（志賀）福井かおる（唐崎）和田紀久子（日吉）清水初美（皇子山）
大塚庸行・住若富子（打出）松岡克実（晴嵐）脇田 進・遠藤修一・河野安明（南郷）
中村 登（瀬田）佐瀬章男（瀬田北）河村良一・中村健一郎（瀬田月輪）

レイカディア大学同窓会 大津支部会報「かけはし」73号

発行責任者 大津支部長 藤田 順一

編集責任者 広報部会長 住若 富子

2021(令和3)年6月23日発行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。

